

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 27 年度活動実績・平成 28 年度活動計画
【障がい支援部会】

《平成 27 年度活動実績》

1 障がい支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数 (平成 28 年 3 月末現在)
 679 人 (再：就学後 472 人 就学前 207 人)

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数
 65 人

①通常学級在籍人数：9 人
 ②中学卒業人数：22 人
 ①②を加えへ変更 679 人。

義務教育期間→就学後へ変更 (高校以上も含むため)

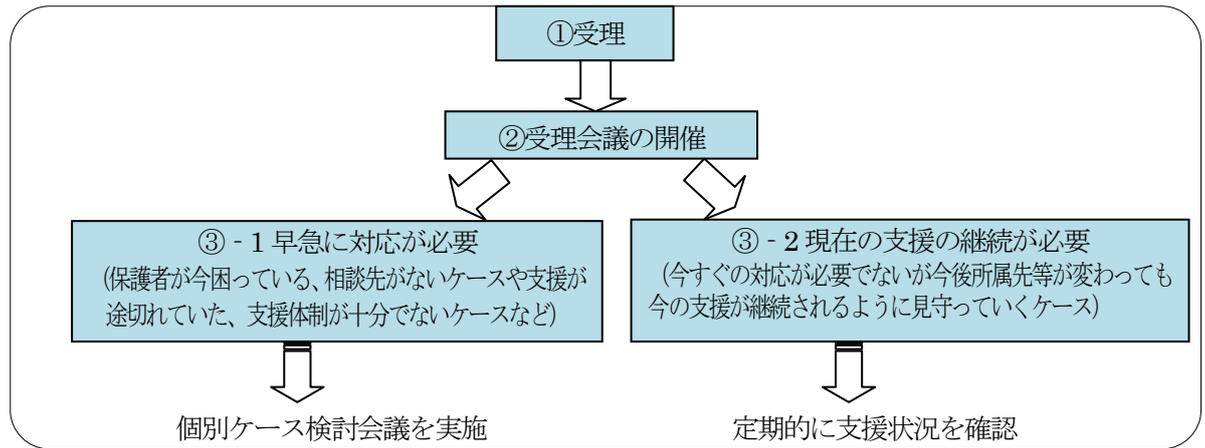
(参考 1) 平成 28 年度特別支援学級に在籍する児童生徒数ならびに学級数

学級種別	区分	市内小学校		市内中学校		計	
		学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数
知的障害学級		19	71	12	54	31	125
自閉・情緒障害学級		21	91	10	44	31	135
その他 (肢体不自由・病虚弱)		2	5	2	3	4	8
合計		42	167	24	101	66	268

(参考 2) 平成 27 年度通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒数

問題項目	区分	市内小学校		市内中学校		計		国の平均
		人	%	人	%	人	%	
学習面か行動面で著しい困難を示す		508	10.2	82	3.2	590	7.8	6.5
学習面で著しい困難を示す		287	5.5	46	1.8	333	4.4	4.5
行動面で著しい困難を示す		334	6.7	58	2.2	392	5.2	3.6
学習面と行動面ともに著しい困難を示す		113	2.3	22	0.9	135	1.8	1.6

(3) 「個人情報の取扱いに関する同意書」受理後の対応



※同意が無い「障がい」把握者への支援

乳幼児の場合 → 保健師や保育所（園）、幼稚園の保育士等の支援

小中学生の場合 → 学校での通常支援及び、通級指導教室（三条小学校・長沢小学校）や市が委嘱した特別支援学校職員による専門指導員の巡回支援等

2 障がい支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第1回	7月28日	三条市役所 栄 庁 舎	・特別支援教育を知り、就学前後の切れ目ない支援のあり方について検討	13機関

3 研修会・講演会

会議名	月 日	場 所	内 容 等	参加人数
発達応援セミナー (発達応援講演会)	第1回 8月3日	リサーチ コア	演 題：「発達障がいのある人たちの就職」 ～ワーキングサポートセンター「スタンバイ」の 取組と学校現場に望むこと～ 講 師：NPO 法人にいがたオーティズム理事 ワーキングサポートセンター「スタンバイ」 プロジェクトマネージャー 丸山 高志 氏 対象者：小・中・特別支援学校教職員、保育所（園）職員、 行政関係者	144 人
	第2回 2月13日	総合福祉 センター	映画「ちづる」上映会と赤崎監督のミニトーク 講師：映画監督 赤崎 正和 対象：市民	120 人
専 門 研修会	1月28日	栄庁舎	講 義：「三条市の就労支援の実際と課題」 説明者：三条市福祉保健部福祉課 三条公共職業安定所 三条地域若者サポートステーション 対象者：小中学校教職員、市内高等学校、保育園（所）・ 幼稚園職員、支援機関職員等、	34 人

4 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<p>【実務者会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、義務教育の就学までの流れや、特別支援教育について理解を深め、各支援機関の「つなげる」「引き継ぐ」役割について考える機会になった。会議では、日頃感じていること、困り感等について活発な意見が出され、「発達障がい」を取り巻く現状について共有できた。 <p>【専門研修会・発達応援セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門研修会では、高等学校や高等部卒業後の発達障がいがある子どもの就労や自立支援の状況を公共職業安定所や福祉課の職員から学ぶことにより、学校教育終了後の課題、支援の在り方について、関係機関が把握することで、小中学校職員の進路指導の参考となった。 ・専門研修会や発達応援講演会等では、内容がいずれも学校教育終了後の発達障がい児の実態や進路・就労につながるものであり、今後の支援に参考になるものであった。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すまいるファイルは、H20年度より配布しており、H27年度からは接続期である小学校就学を迎える全ての子どもに配布されている状態となった。 	<p>【実務者会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育への確実な引継ぎの推進や、卒業後の進学・就職の実態把握と困り感に応じた支援策の整備について、課題であることを改めて確認した。 <p>【専門研修会・発達応援セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路選択、就労に際して保護者、本人の障害受容、特性理解、自己理解が大切となる。そのための、本人、保護者へ支援の方法を学校現場、関係機関が連携し、検討していく必要がある。 ・障害種に応じた支援のあり方を支援者が研修し、特別支援教育に関する専門性を高める必要がある。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル自体は、徐々に保護者や支援機関に知られてきたが、保護者が主体的に活用するまでに至っていない。保護者への働きかけに加え、関係機関で活用する機会を増やし、今後保護者の主体的な活用へつなげていくことが課題である。

《平成 28 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第 1 回	9 月	三条市役所 栄庁舎	発達障がい支援体制について（仮）
個別ケース 検討会議	随時	支援体制の検討が必要なケースについて関係者で検討を行う。		

2 周知活動

(1) 市民に対する周知

ア 早期療育事業等の利用児をはじめとする小学校就学前の子どもの保護者に対し、子ども・若者総合サポートシステム及びすまいるファイルについて周知

イ 早期療育事業利用者や加配対象児の保護者へすまいるファイル「支援の記録」の活用の周知

(2) 関係機関に対する周知

ア 保育所や関係機関の実務者に対し、支援が必要な子どもに関するすまいるファイルの活用について周知ならびに登録者の情報提供

イ 小中学校の特別支援コーディネーター等を対象に、子ども・若者総合サポートシステムの運用及びすまいるファイル活用について周知

3 研修会・講演会

題名		月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
発達 支援セ ミ ナ ー	第 1 回	7 月 29 日	総合福祉センタ ー	演 題：LD傾向がある児童生徒の指導、配慮 （仮） 講 師：小池敏英 氏 （東京学芸大学 教授） 対象者：小・中・特別支援学校教職員	300 人
	第 2 回	未定	総合福祉 センター	演 題：未定 講 師：未定 対象者：市民	150 人
専門研修会		未定	未定	就学後の障がい児支援に関するテーマ 対象者：実務者等	50 人